

2024年1月19日

各 位

会 社 名 富士レビオ・ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 石川 剛生

富士レビオ HD とインド Agappe の免疫検査領域における提携を通じた CDMO 戦略のさらなる強化について

当社と Agappe Diagnostics Ltd.（本社：インド ケーララ州コチ、Managing Director：Thomas John、以下「Agappe」）は、全自動化学発光酵素免疫測定システム（以下「本測定システム」）ならびにその専用試薬に関する CDMO（Contract Development and Manufacturing Organization：受託開発製造）契約を締結しましたのでお知らせします。

本提携において、当社は傘下の富士レビオ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤田 健）が製造した本測定システムを Agappe に供給します。一方、Agappe はインドで本測定システムを Mispa i60 および Mispa i121 の製品名で販売するとともに、当社傘下企業からの技術支援と原料供給を受けて本測定システム専用試薬をインドで製造・販売します。

Agappe はインド当局からの承認取得を前提として、Mispa i60 および Mispa i121 ならびにそれらの専用試薬（がん、甲状腺疾患、心血管疾患、婦人科疾患、感染症等）30 項目以上を 2024 年 6 月から順次販売開始する予定です。また、本提携はアルツハイマー病などの神経疾患関連領域も対象としており、試薬ラインアップを今後拡充していく予定です。本提携により Agappe は、化学発光酵素免疫測定法に基づく試薬をインド現地で製造し、全自動測定システムとともに自社ブランドで販売する最初の現地企業となります。

本提携を通じ、当社は CDMO 戦略をさらに強化して成長を一層加速させてまいります。

以上

<Agappe について>

Agappe は、インドに本社を置く創業 28 年の企業であり、生化学、血液学、免疫化学、簡易迅速検査（Point of Care Tests：POCT）領域における臨床検査薬のリーディングカンパニーです。研究開発に注力してイノベーションを創出するとともに高品質な臨床検査薬を安価に提供しており、その製品ラインアップを通じて強固で長期的な関係をお客様と構築しています。

Agappe は、診断薬業界における世界のフロントランナーとなるべく、革新的で高品質かつ安価な臨床検査薬の提供を通じて人々の健康に貢献することをめざしています。

<富士レビオグループについて>

富士レビオグループは、H.U.グループの一員であり、臨床検査薬業界のリーディングカンパニーとして価値あるテクノロジーやバイオマーカー製品を提供する研究開発型企業です。ヘルスケア市場に新たな価値を創出し人々の健康と医療の未来に貢献していくことを使命とし、富士レビオ・ホールディングス株式会社の傘下に、日本・米国・欧州を拠点としたグローバル体制を整え、お客様に高品質な製品をお届けしています。

私たちは業界をリードする大手グローバル IVD（In Vitro Diagnostics：臨床検査薬）メーカー様と、知見やノウハウおよびコアとなる原材料を共有することにより、様々なプラットフォーム上における検査ソリューションの開発から製造、供給までを担っています。詳細については、<https://www.fujirebio.com/>をご覧ください。

【本件に関してのお問い合わせ先】

<メディア関連の方>

広報/サステナビリティ部 広報課 TEL：03-6279-0884 e-mail：pr@hugp.com

<投資家・アナリストの方>

IR/SR 部 TEL：03-6279-0926 e-mail：ir@hugp.com